

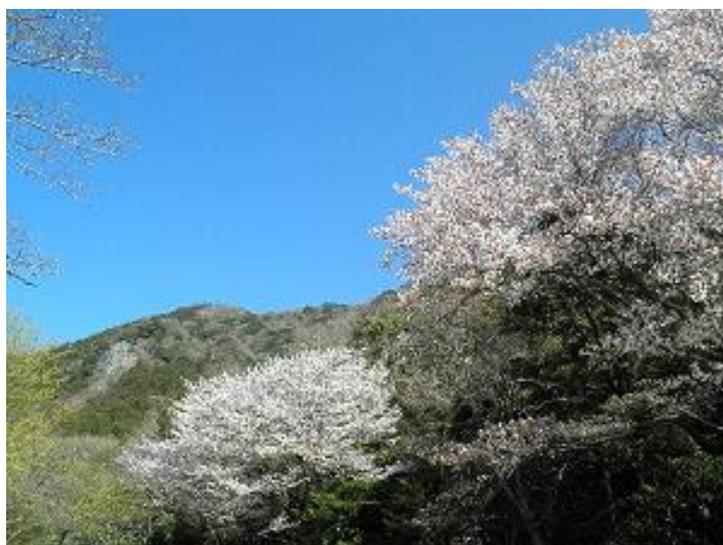
## 鈴鹿市の自然概況

三重県の北部に位置する鈴鹿市は、北西部の鈴鹿山地域を軸に扇形に広がる台地、丘陵地、低地の東側には伊勢湾に面する長い海岸が続いており、自然環境は多様性に富んでいます。

平成16年度から3年間実施した自然環境調査では、多くの希少種を含む7,704種におよぶ動植物が記録され、また、「三重県レッドデータブック2005」掲載種のうち、準絶滅危惧種以上にランクする239種の生息・生育が確認されたほか、昆虫類ではハバビロコケシマグソコガネ、トウカイニンフジョウカイが新種記載されています。

このように、鈴鹿市は、多様な自然環境に多くの希少種を含む多様な生物が生息・生育している生物多様性に富んだ自然豊かなところです。

生きものや自然を守ることが、生態系の一員として共に生きるわたしたち人間の豊かな暮らしを守ることにつながっています。多様性に富んだ本市の自然を守りながら、その恵みを上手に利用する共生の知恵を未来に引き継いでいくためには、自然の中のわたしたち人間と生きものとのつながりに思いをめぐらせ、身近なフィールドで、少し視線をのばしたり、一歩前に進むことから始めることが大切です。



## 自然環境調査

平成15年度から平成24年度まで、専門家の方々を中心に、市民の方々にもご協力をいただき自然環境調査を実施してきました。

### 1 鈴鹿市の自然—鈴鹿市自然環境調査報告書—

平成16年度から18年度まで3年間かけて、専門家を中心に、多数の市民にもご協力いただき自然環境調査を行った結果を「鈴鹿市の自然—鈴鹿市自然環境調査報告書—」としてまとめています。



## 2 新種のコガネムシが発見されました

鈴鹿市が平成 16 年度から 18 年度まで行った鈴鹿市の自然環境調査で、新種のコガネムシ、ハバビロコケシマグソコガネ（学名 *Myrhessus yorikoeae* Ochi, Kawahara et Inagaki（ミレレス ヨリコアエ オチ，カワハラ エットイナガキ））が発見されました。



## 3 大発見！鈴鹿市の自然－鈴鹿市の自然ガイドブック－

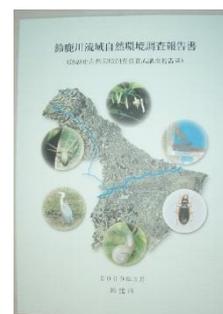
平成 16 年度から 18 年度の 3 年間にわたる自然環境調査をまとめた「鈴鹿市の自然－鈴鹿市自然環境調査報告書－」をカラー写真やイラストを多数掲載し、分かりやすい内容に再編集し、「大発見！鈴鹿市の自然－鈴鹿市の自然ガイドブック－」として発刊しています。



## 4 鈴鹿川流域自然環境調査報告書

### （鈴鹿市自然環境調査員養成講座報告書）

平成 18 年度から 20 年度までの 3 年間、自然環境調査を行える人材を育成することを目的に自然環境調査員養成講座を実施し、鈴鹿川流域で行った自然環境調査の結果を「鈴鹿川流域自然環境調査報告書」（鈴鹿市自然環境調査員養成講座報告書）としてまとめました。



## 5 重要生態系地域の自然環境調査報告書

平成 20 年 3 月に発刊した『鈴鹿市の自然－鈴鹿市自然環境調査報告書－』の中で、複数の分野で『三重県レッドデータブック 2005』に掲載されている種や、学術的に貴重な種、三重県初記録種などが、生息・生育することが確認された地域の中で、特に生物相の構成が多様であるか、生息環境として重要として認められる地域について、「重要生態系地域」として紹介しています。

平成 21 年度から平成 23 年度の 3 年間にわたり、公募した市民調査員と専門家の協力により、「重要生態系地域」を中心に、各分野で調査対象を選定し、「重要生態系地域の自然環境調査」を行ない、平成 24 年 3 月に「重要生態系地域の自然環境調査報告書」としてまとめました。

